あかいわの大地(ジオ)の一部改訂のお知らせ

令和4年3月発行の「あかいわの大地(ジオ)」に掲載した「古生代の岩石の形成場(模式図)」を学術的な研究成果に基づいて改訂しました。改訂前と改定後の詳細を以下に記します。

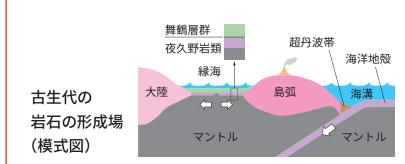
改訂前

大陸地殻 (花崗岩) (模式図)

大陸地殻(花崗岩)の縁に舞鶴層群が堆積し、それらと海洋地殻(夜久野岩類)の境界で超丹波帯の岩石がつくられたと考えられています。

岩石の形成場を分かりやすく説明することを企図したため、 学術的な正確さに欠けた図。舞鶴層群、夜久野岩類、超丹波 帯の形成場は、それらがつくられた「海の深さ」と「場所(大陸 側か海洋側)」で区別しています。

改訂後



大陸と島弧の間にできた縁海で舞鶴層群と夜久野岩類が形成され、海溝では超丹波帯の岩石がつくられたと考えられています。

岩石の形成場を研究成果に基づいて示した図。現在の日本海のように、古生代にも島弧と大陸の間に縁海が存在しました。舞鶴層群と夜久野岩類は縁海に形成された岩石を起源とし、超丹波帯は島弧と海洋地殻の境界(海溝)で形成されたと考えられています。